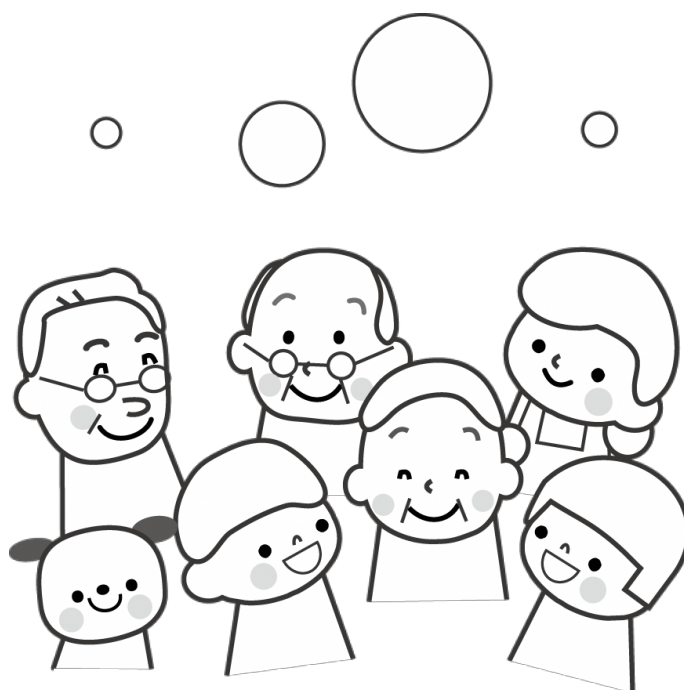


気づく・つなぐ・支えるガイドブック (案)



令和5年4月

久喜市

はじめに

平成26年1月に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が施行されたことを踏まえ、久喜市でも令和2年3月に策定された「第2期久喜市子ども・子育て支援事業計画」において、「子どもの貧困対策を推進する環境づくり」を市の子育て支援施策の基本目標の一つとし、経済的に困窮している状態にある子どもへの対策を推進しています。

しかし、子育て世帯の経済的な問題は、原因が複雑に絡み合っていること、また、悩みを抱え込んでしまう子どもや保護者が多いため、外から捉えにくい状況にあります。

このような課題を解決していくためには、子どもの生活や心身の状況の変化、貧困の背景にある問題などに「気づく」視点、貧困状態にある家庭を適切な保護・支援に「つなぐ」視点、貧困の連鎖を断ち切るために子どもや保護者を「支える」視点が不可欠です。

「気づく」…子どもの生活や心身の状況の変化、経済的困窮の背景にある問題などに気づく

「つなぐ」…経済的困窮状態にある家庭を適切な保護・支援につなぐ

「支える」…経済的困窮の連鎖を断ち切るために子どもや保護者を支える

3つの視点のうち、「気づく」と「つなぐ」については、行政からの働きかけだけではなく、保育園や幼稚園の職員、民生委員や地域の方々など、より多くの支援者による協力・連携が必要不可欠です。

このことから、経済的に困窮している状態にある家庭が必要とする制度に確実につながるよう、また、支援者が支援する際の資料として活用していただくため、利用できる制度や相談窓口等についてまとめたガイドブックを作成しました。

支援や相談時にこのガイドブックを活用していただくことで、すべての子どもが夢と希望を持って成長していける社会の実現を目指しています。

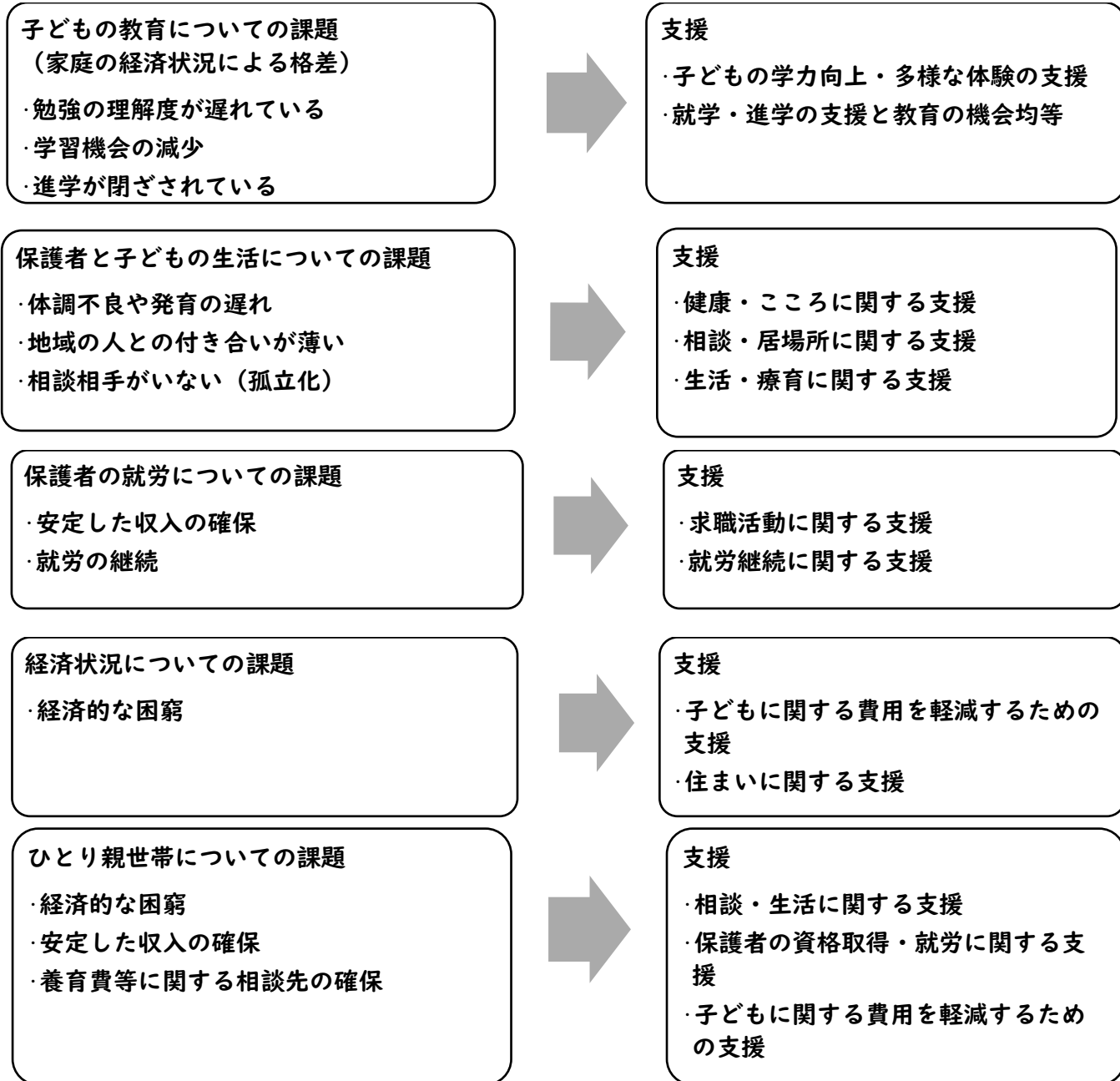
(目次)

1 経済的困窮家庭に対する取組み	2
2 経済的困窮家庭に対する視点	3
(1) 気づく	3
(2) つなぐ	5
(3) 支える	8
3 おわりに	19

Ⅰ 経済的困窮家庭に対する取組み

○経済的困窮状態にある子どもに対する久喜市の現状と課題

平成30年度に実施した「久喜市子どもの生活実態調査」の結果から見えてきた経済的困窮状態にある家庭の子どもを取り巻く主な課題と支援は次のとおりです。



○気づき、支援へつなぐ仕組みについて

支援者からは、経済的困窮状態にある家庭に気づき、その抱えている課題について把握することは困難であるとの声があります。また、そのような家庭を把握した後も、「どこまで内情に踏み込んでいいかわからない」、「他の機関との連携方法がわからない」との意見もありました。

経済的困窮状態にある家庭が抱える課題は、経済的な問題を始め、仕事のことや子どもの発達など多様化していることから、関係機関と連携しながら、情報共有を図ることが重要であると認識しています。

2 経済的困窮家庭に対する視点

(1) 気づく

経済的困窮家庭と、その家庭が抱える問題は表面化しづらいことが大きな問題となっています。小さな違和感を流さずにとらえることが重要です。「気づく」のポイントとして、児童(子ども)と保護者の抱える悩みをまとめましたので、参考としてください。

○児童(子ども)の抱える悩み



話題についていけなくて友達がいない

お母さんが遅くまで働いていて家では一人…寂しい

勉強したくない
面白くない

家のことを相談できる相手がいない

みんなが持っているような文房具が買ってもらえない

○保護者の抱える悩み

子どもの成長が心配…

友達・相談相手がいない

家賃の支払いが心配

仕事どうしよう

子どもともっと一緒にいたいけど、お金を稼ぐために働かなければ



※上記の項目はあくまで経済的に困窮している家庭に多く見られる悩みの一部です。同様の悩みを持つからといって、必ずしもその世帯が経済的に困窮しているとは限りません。経済的に困っていても、温かい家庭を築いている方もいらっしゃいます。

また、外部の人に経済的に困っていることを知られたり、指摘されたりすることは、その人の自尊心を傷つけ外部へ心を閉ざす一因となり得ます。

接する際には、保護者・子どもの自尊心を傷つけないよう配慮しつつ、相談しやすい信頼関係を築いていくことが重要です。

日々の暮らしのなかで、施設やそれぞれの場面、親子と関わる際に“気づき”の機会があります。
それぞれの機会を逃さず、“気づき”のきっかけとしてください。

例えば…

【行政窓口等】

・窓口での申請や相談時 ・乳幼児健診時 ・予防接種の状況 ・市税等の滞納状況
・税申告等、必要な手続きの状況

【子育て支援センター、児童センター等】

・来館時間帯 ・児童の友人関係 ・保護者同士の関わり方 ・職員への態度

【保育園、幼稚園】

・送迎時の様子 ・健康診断や身体測定時 ・行事や保護者会への参加状況
・昼食及びおやつ時間 ・保育料等の集金状況 ・他の園児とのかかわり方
・先生への態度

【学校】

・登校時の様子 ・授業態度 ・宿題の提出状況 ・給食の時間 ・部活動の参加状況
・健康診断や身体測定時 ・進路希望状況 ・授業参観や保護者会への参加状況
・家庭訪問時 ・二者、三者面談時 ・放課後の過ごし方

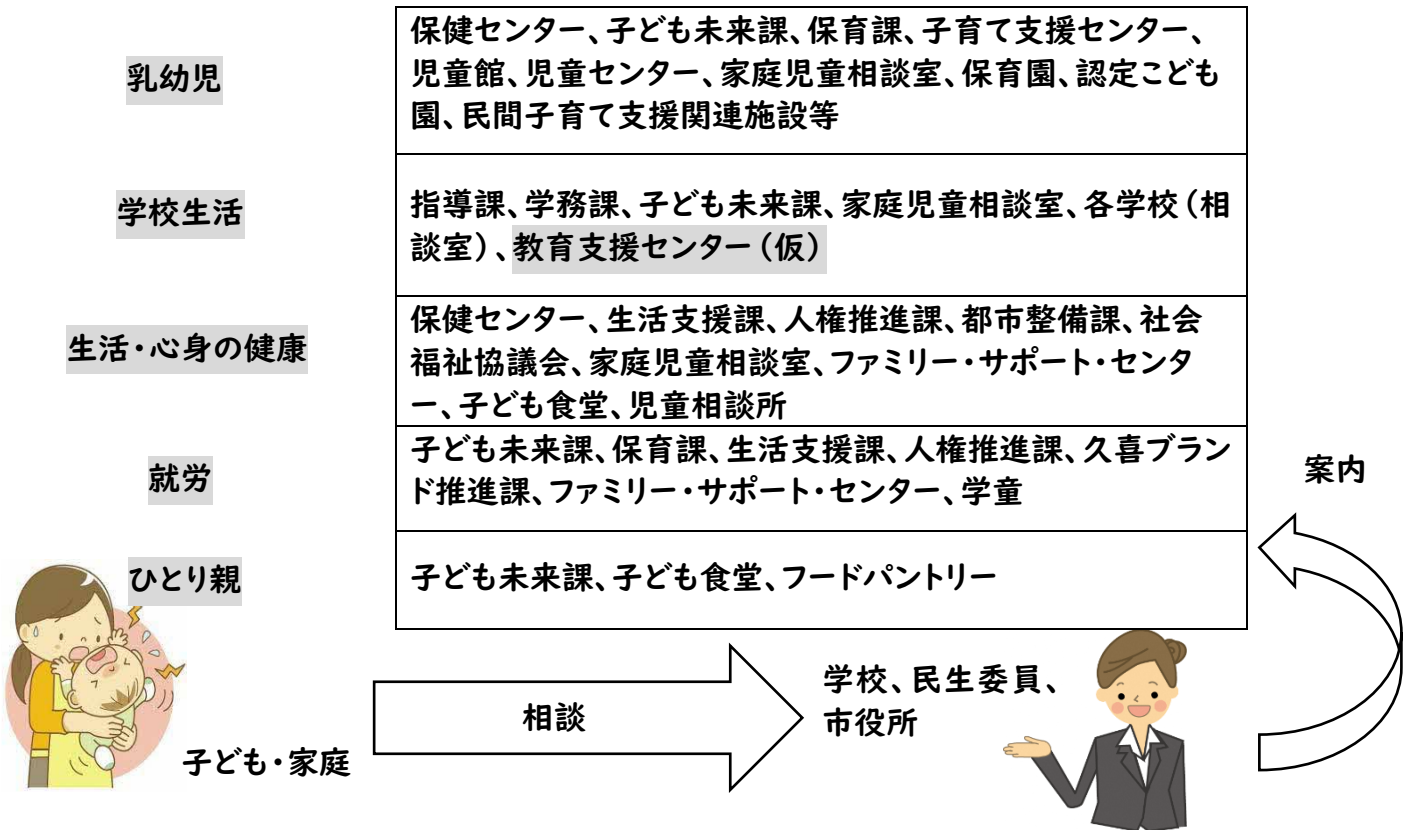
【地域】

・子ども及び保護者の在宅状況 ・地域行事への参加状況 ・子どもの外出時間帯
・住宅(庭)の様子 ・外出時の様子 ・買い物の様子

(2) つなぐ

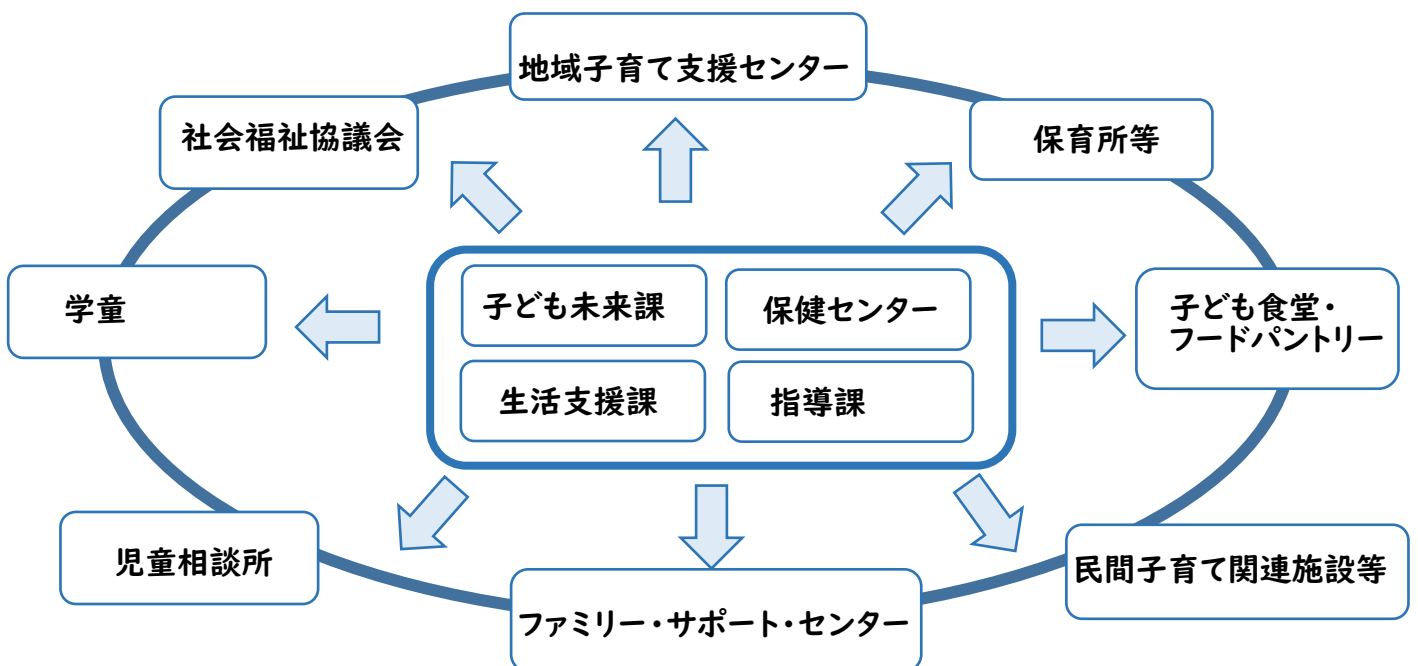
支援を必要とする子ども・保護者の相談窓口は内容によって多岐に渡ります。支援者も可能な限り、ひとりで抱え込むことのないよう、必要に応じて情報の共有を行い、複数の支援者での対応を心がけましょう。

○家庭への支援



○情報共有及び連携

子どもや家庭からの相談は、必要に応じて関係機関で情報共有します。



○相談先一覧



・市内公的機関

名称	連絡先	所在地	対象
久喜市子ども未来課 菖蒲児童福祉係 栗橋児童福祉係 鷺宮児童福祉係	0480-22-1111 (久喜)		18歳未満の児童の いる世帯
久喜市生活支援課 菖蒲社会福祉係 栗橋社会福祉係 鷺宮社会福祉係	0480-85-1111 (菖蒲)	下早見 85-3 菖蒲町新堀 38	生活困窮世帯
久喜市人権推進課 菖蒲総務管理課 人権推進係 栗橋総務管理課 人権推進係 鷺宮総務管理課 人権推進係	0480-53-1111 (栗橋) 0480-58-1111 (鷺宮)	間鎌 251-1 鷺宮 6-1-1	人権に関する相談の ある方及び悩みを抱 えた女性
中央保健センター 菖蒲保健センター 栗橋保健センター 鷺宮保健センター (各子育て世代包括支援セ ンター)	0480-21-5354 (久喜) 0480-85-7021 (菖蒲) 0480-52-5577 (栗橋) 0480-58-8521 (鷺宮)	本町 5-10- 47 菖蒲町新堀 1 間鎌 251-1 鷺宮 6-1-2	妊産婦及び乳幼児の いる世帯
久喜市教育委員会指導課	0480-58-1111	鷺宮 6-1-1	小・中学校生徒と就 学前児童のいる世帯
地域子育て支援センター (公立)	0480-21-8596 (久喜) 0480-55-1147 (栗橋) 0480-59-7510 (鷺宮)	吉羽 692-1 中里 1048-1 鷺宮 2-6-19	未就学の児童のいる 世帯
つどいの広場	0480-21-8324 (午前 9 時～正午)	本町 2-5-1	乳幼児とその保護者 並びに妊娠中のかた
児童センター	0480-21-8181	吉羽 1-40- 14	18歳未満の児童の いる世帯
鷺宮児童館	0480-58-7054	上内 878	

・子どもに関する相談先

名称	連絡先	所在地	対象
埼玉県中央児童相談所	048-775-4152	上尾市上尾村 1242-1	18歳未満の児童の いる世帯
久喜市社会福祉協議会	0480-23-2526	青毛 753-1	地域住民
民生委員・児童委員	0480-22-1111 問い合わせ先:久喜市社会福祉課		
子どもスマイルネット	048-822-7007	—	18歳未満の児童及 び保護者
埼玉子どもを虐待から守る 会	048-835-2699	—	18歳未満の児童の いる世帯

・地域の身近な相談先

名称	連絡先	所在地	対象
地域子育て支援センター (私立)※市内には多くの 支援センターがあります	子育てガイドブックや 二次元コードを参照 してください。		未就学の児童のいる 世帯
子育て案内所えんむすび	0480-48-5501	伊坂中央 1- 3-1 	妊娠中の方、18歳 未満の児童のいる世 帯
マタニティ育児相談室 イトーヨーカドー久喜店 (赤ちゃん休憩室内)	—	久喜中央 4- 9-11	妊産婦及び乳幼児の いる世帯
マタニティ育児相談室 イトーヨーカドーアリオ鷲宮 店(赤ちゃん休憩室内)	—	久本寺谷田 7- 1	(毎週木曜日 13時 ~16時)

・緊急の場合

外傷があるなど、子どもの生命に危険があると感じる場合

名称	連絡先	所在地	対象
久喜警察署	0480-24-0110	上早見 154	久喜・菖蒲・鷲宮地 区
幸手警察署	0480-42-0110	幸手市上吉羽 964	栗橋地区
児童相談所虐待対応ダイ ヤル	189(いちはやく)	最寄りの児童相談所へ繋がります。	

(3) 支える

主な支援制度を必要とする場面ごとに分けました。支援や相談時のヒントとしてください。

乳 幼 児 期

○子育て世代包括支援センター（各保健センター内）

親子の心身の健康のため、妊娠・出産から子育てまで、資格を持った「母子保健コーディネーター」が電話・面談・訪問等での相談に随時応じます。

また、各保健センターでは発達に関する個別相談を実施しています（予約制）。

●問い合わせ先：各保健センター

○入院助産制度

経済的な理由により入院助産を受けることが出来ない妊産婦に対して、指定された助産施設での入院出産に要する費用を助成します。（所得制限及び所得等に応じて自己負担があります）

●問い合わせ先：子ども未来課

○産後ケア事業

産後、家族等から十分な支援を受けられない産後4か月未満（訪問型は産後1年未満）の母子を対象に、産科医療機関や助産師による母子の心身のケアや育児指導・育児相談を行います。

宿泊型…1泊2日/10,800円～

デイサービス型…1日/3,000円～

訪問型…1日（2時間以内）/初日1,400円～

2日目以降1,000円～

課税状況により負担額が変わります
（生活保護世帯等は無料）

利用施設	宿泊型	デイサービス型
山王クリニック	○	○
スピカレディースクリニック	—	○
はやしだ産婦人科医院	○	—
ワイズレディースクリニック	○	○
丸山記念総合病院	○	—

●問い合わせ先：各保健センター

○子育て支援ホームヘルパー

出産直後(母の退院後 3 ヶ月以内)に家族等から援助が受けられない母及び新生児に対し、ホームヘルパーを派遣します。家事・育児について援助します。生計中心者の所得に応じて、1 時間あたり 0 円~950 円の費用がかかります。(1 日 1 回、最大 20 回)

●問い合わせ先:子ども未来課

○地域子育て支援センター・つどいの広場

0 歳~概ね 5 歳の親子が気軽に立ち寄り、遊びながら親同士で交流できる場を提供しています。また、保育士等の資格を持つ相談員が子育て相談に応じます。

●問い合わせ先:各支援センターもしくは子ども未来課

○ホームスタート

妊娠中及び 6 歳以下の未就学児のいる世帯に対して、研修を受けた地域の先輩ママ(ボランティア)が訪問し、傾聴や協働による支援を行います。

●問い合わせ先:ホームスタートくき@こどもむら(☎0480-53-7244)

○久喜市多機能型利用者支援事業

妊娠している方から 18 歳未満の子どもとその保護者に対し、妊娠期から子育て期の様々な悩みごと・困りごとについて、資格を有する職員が相談に応じたり、適切なサービスを紹介したりする等の支援を行います。

●問い合わせ先:子育て案内所 えんむすび(☎0480-48-5501)

○子どものショートステイ

保護者の疾病や出産等で、一時的に養育できなくなった 3 歳未満の児童について、契約施設(富士見乳児院・愛泉乳児園)で最大 7 日間預かります。所得に応じて、1 日あたり 0 円~5,350 円の費用がかかります。

●問い合わせ先:子ども未来課

○一時預かり

保護者の仕事や疾病、育児疲れ等により、一時的に家庭で保育することが困難な満 1 歳から就学前の児童の保育を行います。

※対象年齢、利用料金等は各保育園により異なります。

●問い合わせ先:保育課

○子ども医療費

市内に住所を有し、健康保険に加入している児童(子ども)が医療機関等において診療を受けた場合に、医療費の一部を助成します。また、県内の窓口払い一部廃止医療機関等で受診し、医療費の月額が21,000円未満の場合、医療機関の窓口で受給資格証と健康保険証等を確認することで、窓口での保険診療分の医療費の支払いが不要になります。

- ・支給期間…入院・通院：子どもが18歳になった日以降の最初の3月31日まで
- ・支給額 …保険診療により医療機関の窓口を支払った額から、高額療養費及び付加給付金を控除した額
入院時食事療養標準負担額

●問い合わせ先：子ども未来課

○児童手当

0歳から中学校終了(15歳になった日以後の最初の3月31日)までの国内に居住している児童(子ども)を養育している方に給付します(所得制限があります。)

- ・児童手当支給額(所得制限限度額未満の方)

3歳未満(一律)	月額 15,000円
3歳から小学校終了前(第1子・第2子)	月額 10,000円
3歳から小学校終了前(第3子以降)	月額 15,000円
中学生(一律)	月額 10,000円

- ・特例給付(所得制限限度額以上、所得上限限度額未満の方)

0歳から中学生(一律)	月額 5,000円
-------------	-----------

●問い合わせ先：子ども未来課

○3キュー子育てチケット

第3子以降の子を出産した世帯を対象に、予防接種やベビーシッター、おむつ等の購入に利用できるチケットを最大50,000円分交付します。申請が必要です。

●問い合わせ先：埼玉県3キュー子育てチケット事務局(☎0120-39-3192)

○すくすく出産祝金

制度改正があるかもしれないので、保留

1年以上市内に居住し、第3子以降の子を出産した市税等の滞納のない世帯に祝金(50,000円～)を支給します。申請が必要です。

●問い合わせ先：子ども未来課

学校生活

○放課後子ども教室（ゆうゆうプラザ）

放課後や週末等に小学校の施設を活用し、保護者や地域住民の協力により、児童に学習・スポーツ・文化芸術活動等の様々な体験の機会を提供します。

●問い合わせ先：生涯学習課

○児童センター・鷺宮児童館

児童に安全な遊び場を提供し、様々な事業を実施することで児童の健全育成を図ります。また、保育士資格を持つ職員等が保護者からの児童相談に応じます。

●問い合わせ先：児童センター、鷺宮児童館

○放課後児童クラブ

保護者の就労等により放課後や土曜日、長期休みの間に保育を必要とする小学校就学児童に対し、適切な遊び場・生活の場を提供します。保育料は児童の学年によって変わり、住民税非課税世帯等については助成制度があります。

●問い合わせ先：保育課

○教育相談室

各小中学校に設置されている教育相談室で、相談員が学校生活全般の悩みについて相談に応じます。保護者も相談可能です。

●問い合わせ先：指導課もしくは各小中学校

○教育支援センター（仮）

学校へ行きたくても行けない児童・生徒に対して、学習支援や教育相談を行い学校生活への適応を図ります。

●問い合わせ先：各小中学校

○就学援助制度

生活困窮世帯に対して、学用品費・学校給食費・修学旅行費・校外活動費等の一部を援助します。

●問い合わせ先：学務課

○学校給食費補助

児童生徒を3人以上養育している保護者に対して、3人目以降の学校給食費を補助します。

●問い合わせ先：学校給食課

○入学準備金・奨学金貸付制度

経済的な理由により高等学校、大学もしくは専修学校への就学が困難な生徒に対して、無利子で入学準備金・奨学金の貸付を実施します。

入学準備金	{	高等学校・専修学校(高等課程)…200,000円以内
		大学・専修学校(専門課程)…500,000円以内
奨学金	{	高等学校・専修学校(高等課程)…10,000円位内(月額)
		大学・専修学校(専門課程)…15,000円以内(月額)

●問い合わせ先：学務課

生活・心身の健康

○家庭児童相談室

久喜市役所に配置された家庭児童相談員が、保護者の子育ての悩みや、児童の発達、家族関係等の相談に応じます。子ども本人からの相談も可能です。

月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分 面談・電話での相談可(面談は要相談)

●問い合わせ先：子ども未来課

○人権相談・女性相談

法務大臣から委嘱された人権擁護委員が、日常の様々な悩みごとや困りごとについて相談に応じます。

●問い合わせ先：人権推進課・各総合支所総務管理課

○子ども食堂・フードパントリー

地域のボランティア等が中心となって、経済的困窮家庭へ無料または安価（0円～300円程度）で食事や食材を提供します。

名称	活動内容	活動場所	連絡先
久喜こども応援 隊わくわく	月1回、お弁当や食材 を提供（事前登録制）		TEL:090-9382-2836 FAX:0480-22-9177 ✉:kukiwakuwaku@gmail.com
子ども食堂 ぬ くもり	月2回、夕食を提供 （事前登録制）	本町2-4-11 （本町集会場）	TEL:090-8773-5690 ✉:kuki.kakizaki@gmail.com
こども Café Arts & Eats 	月1回、子ども達に文 化芸術に触れる機会を 提供し、終了後は昼食 を提供	菖蒲町菖蒲85- 1（菖蒲文化会館 アミーゴ）	TEL:0480-21-1799 TEL:0480-87-1377 FAX:0480-23-6488
菖蒲みんな食 堂	2か月に1回、昼食又 は夕食を提供	菖蒲町柴山枝郷 1885（天理教 柴山分教会）	TEL:0480-85-0605 FAX:0480-85-0605 ✉:shibayama_bun@yahoo.co.jp
わくわく食堂菖 蒲	月1回、昼食を提供 （事前登録制）	菖蒲町菖蒲 5205（しょうぶ 翔裕園）	TEL:090-1432-6698 FAX:090-1432-6698 ✉:sindou1571@gmail.com
きっちん・こすも す子ども食堂 	経済的困窮家庭に対し て、きっちん・こすもす のメニューを常に半額 で提供（事前相談必 要）。月1回子ども食 堂を開催し昼食を提 供、奇数月には食材を 提供（事前登録制）。	桜田3-10-2 （鷲宮東コミュニ ティセンターさく ら1階）	TEL:080-5517-2142 FAX:0480-58-2506 ✉:kitchinkosumosu@gmail.com
子ども食堂みん なのいえ 	月1回、昼食を提供 （事前登録制）。週1回 の学習支援時に夕食 を提供	久喜市上内886 （旧鷲宮第二保 育園）	TEL:090-5813-3672 ✉:minnanoie0731@gmail.com
ファルカオスポ ーツベース 	火～金曜は子どもの放 課後の居場所として運 営。不定期（月1回程 度）に子ども食堂を開 催	南栗橋4-17- 17（ファルカオス スポーツベース）	TEL:080-4790-1189 ✉:segawa.taisuke@kataru.jp

●問い合わせ先:子ども未来課

○生活保護制度

生活に困窮する方に対して、その困窮の程度に応じて必要な保護を行い、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長することを目的としています。

●問い合わせ先：生活支援課

○生活困窮者自立支援制度

生活保護受給者以外の生活困窮者に対して、生活や就労等に関する支援を行います。

- ・自立相談支援事業…経済的な問題に関わる様々な悩み事に対して、具体的なプランを作成し、支援員がプランに沿った支援を行います。
- ・住居確保給付金……離職・廃業から2年以内または休業等により、収入が減少し住居を失った、または失うおそれが高い方に対して一定期間、家賃相当額を支給します。(収入・資産等の要件あり)
- ・家計改善支援事業…家計に不安や課題がある方からの相談に応じ、家計相談や家計表などを用いて、家計立て直しのサポートを行い、相談者が自らの力で家計を整理し、早期に生活再生できるよう支援を行います。

●問い合わせ先：久喜市社会福祉協議会

- ・学習支援事業……学習教室を設置し、生活保護世帯及び生活困窮世帯の中学生、高校生に学習支援を行います。

●問い合わせ先：生活支援課

○公営住宅

住宅に困っている収入の少ない方のために国の補助を受けて整備された賃貸住宅です。

- ・県営住宅…1月、4月、7月、10月の年4回、定期入居募集を行っています。また、各募集月において「埼玉県県営住宅入居者募集のご案内」を久喜市役所本庁、各総合支所、第二庁舎ふれあいセンター久喜、中央公民館、東公民館、西公民館にて配布しています。

申込みできる方は、次のすべての条件を備えていることが必要です。

- ① 親族からなる2人(出産予定では人数に含まれません)以上の世帯であること。ただし、単身住宅、単身車イス住宅に申込みの方を除きます。
- ② 入居しようとする世帯の収入月額が158,000円以下(高齢者・障がい者世帯等については214,000円以下)であること。
- ③ 埼玉県内に住所又は勤務地があること
- ④ 暴力団員でないこと
- ⑤ 県民税・市町村民税を滞納していないこと
- ⑥ 地方公共団体、独立行政法人都市再生機構又は地方住宅供給公社が整備する賃貸住宅の家賃若しくは損害賠償金を滞納していないこと
- ⑦ 現に住宅に困窮していることが明らかなこと

・原則として、持ち家のある方、公的な住宅にお住まいの方は申し込むことができません。

※外国人にあっては、①～⑦の条件に加えて、中長期の在留資格があることが条件となります。

※市での申し込みの受付は行っていません。

●問い合わせ先：埼玉県住宅供給公社岩槻支所(☎048-794-7146)・住まい相談プラザ(☎048-658-3017)

・UR 賃貸住宅(旧公団住宅)…独立行政法人都市再生機構が管理する住宅です。随時入居募集を行っています。※市での申し込みの受付は行っていません。

●問い合わせ先：独立行政法人都市再生機構 UR 大宮営業センター(☎048-649-2277)

就労

○女性の再就職支援

女性の再就職支援を目的とした講座等の情報を提供しています。

●問い合わせ先：人権推進課

○久喜市ふるさとハローワーク

久喜市役所本庁舎内で、ハローワーク春日部と同様の求人情報の提示とともに、相談員による職業相談や職業紹介サービスを行います。

●問い合わせ先：久喜市ふるさとハローワーク(☎0480-29-2768)

○内職相談

週 2 回、内職の照会・あっ旋を行うほか、苦情相談等の内職に関する悩み事全般について相談を受け付けます。(予約制)

●問い合わせ先：久喜ブランド推進課

○ファミリー・サポート・センター

生後 6 ヶ月から小学校 6 年生の児童を対象に、塾・習い事の送迎や短時間の預かり等、育児に関する相互援助活動の支援を行います。

月～金曜日の午前 7 時～午後 7 時 1 時間/700 円

上記の時間外と土日祝日・年末年始 1 時間/900 円

以降加算は30分単位で1時間の半額

●問い合わせ先：久喜市ファミリー・サポート・センター本部(☎0480-29-1900)

○休日保育

日曜日・祝日に保護者の就労等により、家庭において保育できない児童（市内在住の市内保育所に入所している満1歳～就学前までの児童）を保育所で保育します。

実施保育園	保育時間	定員	利用料金	
			保護者の就労 または就学等	教育・保育給付認定を受けた要件と異なる事由
(公立) ひまわり保育園	日曜日・祝日 午前8時30分 から午後5時 (延長なし)	1日あたり10人 (申込先着順)	0円	2,000円
(私立) 鷲宮保育園				3,000円

●問い合わせ先：保育課もしくは各保育園

○病児・病後児保育

乳幼児及び児童が病氣中または回復期にあり、学校や保育園等での集団生活が出来ず、保護者の就労等により家庭での保育も困難の場合、市内医療機関で一時的に保育を行います。

実施施設：土屋小児病院 定員：1日6名まで 対象：満6ヶ月から小学校6年生まで
費用：1日あたり2,000円（住民税非課税世帯及び生活保護受給世帯は無料）

●問い合わせ先：保育課

ひとり親家庭

○児童扶養手当

ひとり親家庭の父または母、父または母が一定の障がいの状況にある家庭の子どもを育てている方、若しくは父または母に代わってその子どもを育てている方に支給します（所得制限があります。）。

・支給額

子ども1人の場合	所得に応じて月額10,160円～43,070円
子ども2人の場合	上記の金額に所得に応じて月額5,090円～10,170円を加算
子ども3人以上の場合	2人の場合の月額に所得に応じて1人につき3,050円～6,100円を加算

※公的年金などを受給している場合は差額支給となります。

・支給期間…子どもが18歳になった日以後の最初の3月31日まで

また、一定の障害のある場合は20歳になるまで

●問い合わせ先：子ども未来課

○ひとり親家庭医療費

病気やケガで医療機関等において診療を受けた場合に、医療費の一部を助成します（所得制限があります。）。また、県内の窓口払い一部廃止医療機関等を受診し、保険診療の自己負担金が一医療機関ごとに入院、通院別で21,000円未満の場合、医療機関の窓口で受給者証と健康保険証等を確認することで、窓口での保険診療分の支払いが不要になります。

ひとり親家庭の父または母、父または母が一定の障がいの状況にある家庭の子どもを育てている方、若しくは父または母に代わってその子どもを育てている方に支給します（所得制限があります。）。

- ・支給対象者…ひとり親家庭の父または母および養育者とその養育する子ども
父または母に一定の障がいがある場合、子どもと子どもを看護する父又は母
- ・支給期間 …子どもが18歳になった日以後の最初の3月31日まで
また、一定の障害のある場合は20歳になるまで
- ・支給額 …保険診療により医療機関の窓口を支払った額から、高額療養費及び付加給付金を控除した額
入院時食事療養標準負担額

●問い合わせ先：子ども未来課

○母子生活支援施設

母子家庭及び何らかの事情で離婚の届出が出来ないなどの母子家庭に準じる家庭の女性を、児童とともに施設で保護し、自立のための相談・支援を実施します。

●問い合わせ先：子ども未来課

○JR 通勤通学定期乗車券の割引

児童扶養手当受給者の世帯主及び世帯員がJRで通勤・通学する際に定期乗車券を3割引で購入できる証明書を発行します。

●問い合わせ先：子ども未来課

○自立支援教育訓練給付金

児童扶養手当受給者もしくは同程度の所得水準にあるひとり親が、雇用保険法で定める教育訓練等を受講し修了した場合に、受講費用の一部を支給します。

●問い合わせ先：子ども未来課

○高等職業訓練促進給付金

児童扶養手当受給者もしくは同程度の所得水準にあるひとり親が、資格取得のため6月以上養成機関等で修業する際に、最大で4年間にわたり給付金を支給します。また、修業を修了した際にも給付金を支給します。

	対象資格	支給額(月額)	
		市民税非課税世帯	課税世帯
高等職業訓練促進給付金	看護師、准看護師、保育士、介護福祉士、作業療法士、理学療法士、歯科衛生士、美容師、社会福祉士、調理師等	市民税非課税世帯	100,000円
		課税世帯	70,500円
高等職業訓練修了支援給付金		市民税非課税世帯	50,000円
		課税世帯	25,000円

●問い合わせ先:子ども未来課

○高等学校卒業程度認定試験合格支援

児童扶養手当受給者もしくは同程度の所得水準にあるひとり親及び扶養されている20歳未満の児童が、高卒認定試験合格のため民間企業等の対策講座を受講した際に、受講費用の一部を支給します。また、高卒認定試験に合格した際は追加で給付金を支給します。

	支給額
受講開始時給付金	受講経費(4,000円以上)の30% 限度額:75,000円
受講修了時給付金	受講経費(4,000円以上)の20% 限度額:受講開始時給付金と合計して100,000円
合格時給付金	受講経費の40% 限度額:受講開始時給付金、受講修了時給付金と合計して150,000円

●問い合わせ先:子ども未来課

○母子父子寡婦福祉資金貸付制度

ひとり親もしくは寡婦に対して、生活や医療、就職、子の就学等の必要に応じて年1.0%(連帯保証人を立てる場合は無利子)で貸付を実施します。

●問い合わせ先:東部中央福祉事務所(☎048-737-2359)

5 おわりに

久喜市ではすべての子どもたちが夢と希望を持って成長していける社会の実現を目指し、経済的困窮家庭の子どもに対する施策を推進しています。

このガイドブックを活用いただくことで、子どもの悩みに気づき、適切な支援につなげるとともに、支援者や行政、地域等に双方向のつながりが広がり、社会全体で子育てを支えていく体制が構築されていくよう期待しています。

すべての子どもが安心して成長し、自立していける体制を整えることで、夢と希望を持って成長していける社会の実現を目指してまいります。

気づく・つなぐ・支えるガイドブック

担当課 久喜市 健康・子ども未来部 子ども未来課
発行年月日 令和5年4月

〒346-8501 埼玉県久喜市下早見 85-3
電話:0480-22-1111(代表)